



メリハリのある夏休みを…

新校の新しい標準服を身にまとった1年生が入学し、2種類の標準服が混在する形でスタートした一学期が終了します。5月には正式に新校の名前が「栄桜小中学校」と決まり、さらには旧小栗栖小学校の敷地では着々と工事が行われています。7月から始まったプール学習も終了し、長年お世話になったこのプールもこの後取り壊し工事に入ります。少しずつではありますが「小栗栖中学校最後の…」と「栄桜小中学校に向けて…」も混在してきました。

そんな中で迎える夏休み34日間。おそらく今年も猛暑・酷暑と表現される日が続くのではないかと考えられます。水の事故などくれぐれも注意をしてもらいたいと同時に、熱中症対策もしっかりと行ってもらいたいと思います。昨年度までに比べマスクの着用も緩和されていますので、中学生として自分の健康管理ができるように心がけてください。

例年話すのですが、夏休みには必ず終わりがあります。そのことをしっかりと意識した上で、自分なりのテーマを決めるとか、この夏の目標を掲げるとか、ダラダラといつの間にか過ぎていったということの無いようメリハリのある夏休みにしてください。



夏季大会大健闘…



夏休みを前に競技によっては夏季大会がスタートしています。1つ上の学年からコロナで満足な練習ができず、その煽りを受けた状態でなかなか活動がしにくかった学年だとは思いますが、部活動によっては人数が足りなく合同であったり、サブのメンバーがほとんどいなかったりと苦しい状態ではあったと思いますが、精一杯取り組んでいる姿が素敵でした。善戦むなしく敗れてしまった後に悔し涙を流している姿は、今後の人生に大きな良い影響を与えてくれていると感じました。勝負ですから勝つに越したことはありません。し

かし一緒に取り組んだ仲間と築いた「絆」は必ずもっと大きな「勝利」をもたらしてくれることと思います。特に3年生はこの大会で負けた悔しさから「高校に行ってもこの競技を続けるぞ」と感じる人もいるでしょうし「違った競技にチャレンジしてみたい」と感じる人もいるでしょう。

進路という次のステップに大きな影響を与えてくれたのではないのでしょうか？この後も、ソフトテニス部・男子バレーボール部・女子バレーボール部の

試合が残っていますし、8月には吹奏楽部のコンクールもあります。最後まで悔いの残らないような準備と、最後まで諦めない姿を期待しています。

今年も粘ってみたところ

昨年、念願かなって小栗栖池で睡蓮の葉っぱの上にカエルの姿を見ることができましたが、今年もあきらめずに見ていると小さなカエルですがしっかりと葉っぱの上に休んでいました。今年はバッタの休憩所でもあったようです。

植物や動物は愛情を込めて接していると、気持ちは伝わるようでこの後綺麗な水蓮も咲いていました。

< 8月の予定 >

8月 7日 (月)	学校閉鎖日 (16日まで)
23日 (水)	リーダー研修会
24日 (木)	始業式
25日 (金)	休み明け課題テスト 昼食開始
31日 (木)	山科醍醐支部授業研修会

